

新たな臨時の医療施設及び宿泊療養施設の設置について

県では、今後の新型コロナウイルスの感染再拡大に備え、臨時の医療施設と宿泊療養施設の機能を兼ね備えた多目的な施設（約160床）を、千葉市内の民間研修施設を活用して、新たに設置します。

なお、実際の運用開始については、今後の感染者数や病床稼働率等を踏まえ、判断します。

1 施設の概要

○ 場 所 ちばぎん研修センター（千葉市稲毛区長沼町297）

○ 構 成

① 臨時の医療施設：研修センターの研修室、宿泊部屋（個室）を活用して、約110床を整備予定

② 宿泊療養施設：研修センターの駐車場を活用して、プレハブ型の施設を設置し、約48室（約50床）を整備予定（各室シャワー、トイレ完備）

※ 上記を加えた県内施設の設置状況

臨時の医療施設： 2施設（他は千葉県がんセンター（千葉市内））

宿泊療養施設： 10施設（合計1,438室）

2 施設の運用方式

医療従事者の配置、配食、清掃、リネン交換などの一連の業務を民間への包括外部委託により、実施予定

3 運用開始後の実施体制（予定）

24時間体制で複数の医師（夜間は、オンコール対応）、看護師、生活支援スタッフを配置（人数は、稼働状況により変動）

実際の運用開始については、今後の感染者数や病床稼働率等を踏まえ判断

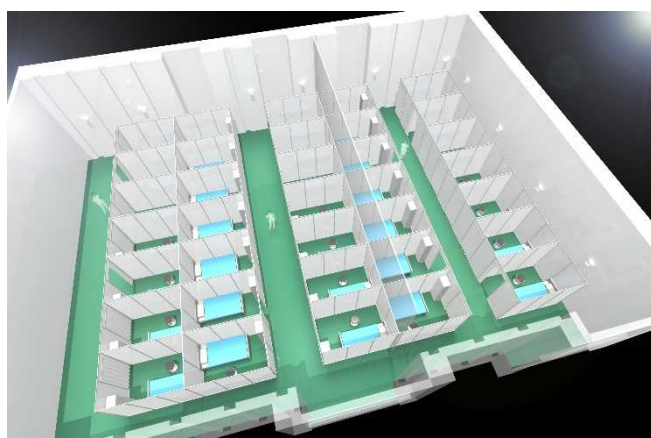
1 位置関係



2 施設外観



3 施設内イメージ



大研修室に複数ベッドを配置



宿泊療養施設（個室）

ベッド、トイレ、シャワー完備